

院長コラム

聖書の一節から

From the Bible



*Let those who wept as they planted their crops,
gather the harvest with joy!
Those who wept as they went out carrying
the seed will come back singing for joy,
as they bring in the harvest.*

涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる。
種の袋を背負い、泣きながら出ていった人は
束ねた穂を背負い喜びの歌をうたいながら帰ってくる。

(詩編126篇5-6節 新共同訳)



西南学院 院長
いまい なおき
今井 尚生

苦しみや悲しみを進んで我が身に引き受けようとする人はいません。できればそれらとは無縁に、平穩に生きていきたい、誰もそう思いません。しかし、苦しみや悲しみの全くない人生などあり得ません。ある病を経験したことのある医者は、同じ病に苦しむ患者を深く理解することができると思います。同じように、ある苦悩を患った人は、同じ苦しみを負った人に寄り添うことができ、その人

と心で繋がることができます。相手の方でも、この人なら自分の苦しみを分かってくれる、と思えるからです。そして、自分の苦しみを心から理解してくれる人に出会えた時、たとえその苦しみがまだ癒えていないとしても、心の安らぎを得ることができます。苦しみ悲しみはつらい経験ではありますが、人生において避けられない苦しみ悲しみも、決してそれだけで終わることはないでしょう。

School Organization Chart

1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院までを擁する全国でも数少ない総合学園です。
保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて、保育、教育を実施しています。 ※データは2021年2月現在



西南学院大学

学生数:約8,100人

1949年開設。人文・社会系総合大学です。開学当時からキリスト教に基づく人格教育を実践してきました。また、1971年に他大学に先駆けて国際交流制度を導入し、外国語教育をはじめとする国際教育の充実・向上を図っています。長年にわたって培われてきた伝統は、社会的に高く評価されており、同窓生たちは、九州の経済界をはじめ、教育、マスコミ、法曹、福祉など多方面で活躍しています。



西南学院中学校・高等学校

【高等学校】生徒数:約1,300人

全学年、毎日1限目から7限目まで7時間の授業が行われています(月曜のみ8時間)。多様化する大学入試にも対応できるように、習熟度や進度の違いに配慮して授業を実施しています。知識の習得はもちろん、物事の善し悪しを判断する知恵と「自分にして欲しいことを他人に行う」という積極的な生き方を身に付け、それをいかに社会に生かしていくかを学びます。

【中学校】生徒数:約650人

一人ひとりが授かった能力や個性を最大限に伸ばすことができる教育を目指し、中高一貫教育を実施しています。6年間にわたるゆとりあるカリキュラムと豊かな環境の中で、生徒たちが存分に知識や能力を伸ばすと同時に、聖書に示されている価値観や人生観を学んだり、クラブ活動や国際交流、ボランティア活動等を通して、豊かな人格形成ができるように配慮した教育を実施しています。



西南学院小学校

児童数:約420人

2010年に開校した、西南学院の中で最も新しい学校です。心身ともに成長著しい小学校の課程において、キリスト教の精神に基づいた教育理念のもとに「隣人を愛する」「知恵を育む」ことを目標として、平和な未来を創る子どもたちの育成に努めています。環境に配慮して設計された校舎内は最新の教育機器を備えており、教育の質的向上が図られています。



西南学院舞鶴幼稚園

園児数:約170人

福岡市内で最も歴史のあるキリスト教主義の幼稚園です。「心ゆたかたたくましいひかりのこ」を目指して、太陽と土と水と緑に触れながら感性豊かに育ち合う子どもたちを育成しています。一人ひとりの子どもの気持ちをくみ取ることができるよう、各クラスを複数担任で受け持っています。思いやりの心を培いながら、個性豊かにひのびと生きていく力を育む保育を実施しています。



西南学院早緑子供の園(保育所)

園児数:約90人

0歳児から6歳児までの園児が長時間生活する場として、家庭的な雰囲気ときめ細かな育児を心がけています。「神様に愛され守られて成長していく一人ひとりの子どもを大切に」というキリスト教を礎とした保育理念を柱に、子どもたちが神様の深い愛に包まれている安心感を持ちながら、生きる力の基礎となる心の土台を育てたいと願い、保育を進めています。

Vol. 8

March 26, 2021

赤煉瓦通信

～一粒の麦から～
2021年3月26日発行(年2回発行)
学校法人西南学院 総合企画部 広報・校友課
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
TEL.092-823-3248

【“一粒の麦”について】

「一粒の麦」は、イエス・キリストが言われた「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」を語源としたものです。広い世界の中で、西南学院は「一粒の麦」であり、西南学院で学ぶ一人ひとりもまた「一粒の麦」と言えます。「一粒の麦」が持つ可能性を信じ、社会のために尽くしていくこそが創立者の思いであり、今もなお大切に受け継がれています。

西南学院

<http://www.seinan-gakuin.jp>

- 西南学院大学・大学院
- 西南学院中学校・高等学校
- 西南学院小学校
- 西南学院舞鶴幼稚園
- 西南学院早緑子供の園(保育所)

西南学院広報誌

あか れん が

赤煉瓦通信 Vol. 8

March 26, 2021

～一粒の麦から～

[特集]

西南学院とコロナ禍



[特集] 西南学院とコロナ禍

今、届けたい言葉

2020年春、新型コロナウイルスの感染が広がり、学生、生徒、児童、園児の皆さんや保護者の方々、そして私たち教職員にとって、前例のない状況に不安や迷いを抱えた一年でした。しかしながら、私たちは、コロナ禍という困難な状況でも、さまざまなことに挑戦し、多くの壁を乗り越えることもできたのではないのでしょうか。院長・学長・各学校長・園長から皆さんに届けたい言葉があります。

あなたの道を主に任せよ。
主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。

詩編37編5節(聖書協会共同訳)

あなたがたは世の光である。
山の上にある町は、隠れることができない。
また、ともし火をともして
升の下に置かない。燭台の上に置く。
そうすれば、家の中のものすべてを
照らすのである。

マタイによる福音書5章14~16節(新共同訳)

貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。
満腹していても、空腹であっても、
物が有り余っていても不足していても、
いついかなる場合にも対処する秘訣を授かっています。
わたしを強めてくださる方のお陰で、
わたしにはすべてが可能です。

フィリピの信徒への手紙4章12~13節(新共同訳)

わたしたちは、このような希望によって
救われているのです。
見えるものに対する希望は
希望ではありません。

ローマの信徒への手紙8章24節(新共同訳)

あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい。

マタイによる福音書5章16節(聖書協会共同訳)

あなたがたは世の光である。

マタイによる福音書5章14節(新共同訳)



西南学院 院長
いまい なおき
今井 尚生

コロナ禍のように未来を見通せない中で、私たち人間は不安を抱きます。それは、困難な状況下では、これまでの方法が通用しないことから生まれてくる感情だろうと思います。しかし、見方を変えれば、これまで常識だと思っていたことの問題点を意識し、新しい方法や道が示される機会でもあります。この状況は、確かに困難には違いありませんが、西南学院で学ぶ学生、生徒、児童、園児の皆さんには、誠実に考え、行うとき、私たちがこれから歩む道は主が整えてくださる、との信頼をもって歩み続けてください。いついかなるときも、主に対する信頼をもって、前を向いて自らの足で道を開いてほしいと思います。



西南学院大学 学長
G.W.パークレー

昨年、私たちは大きな困難に立ち向かうことになりました。大学でも授業や定期試験の形を変え、学生の皆さんは慣れない環境の中で不安な日々を過ごしたことでしよう。そのような中でも、コロナ禍の影響を受けた地域やアルバイト先でボランティア活動を行った学生がいたそうです。困難な状況においても誰かに手を差し伸べている皆さんは、他者へ勇気や希望を与えることができる存在です。今後、以前と同じ日常に戻ってくるかは定かではありませんが、建学の精神「Seinan, Be True to Christ」(西南よ、キリストに忠実なれ)を胸に刻んだ皆さんが、世の中を照らす希望の光となることを願っています。



西南学院中学校・高等学校 校長
はやし ひろし
早川 寛

私たちは今、将来、歴史の教科書に載るであろう「コロナ禍の時代」を歩んでいます。この時代をどう生き抜いたかを後世の人々に語り伝える時が必ず来ます。その時、胸を張って語ることができるように、今の経験を通して「自分は何を知ることができたか」「自分は何をしたか」「自分は何を願ったか」をしっかり心に留めて、前を向いて進んでください。人生には予想もしなかった出来事が起こります。そして、その状況を変えるのは大変難しいことです。それを乗り越えるには、自分を変えることです。状況に左右されない確固とした信念を持ちつつも、「いかなる場合にも対処する」ことのできる、自由で柔軟な生き方ができるようにと願っています。



西南学院小学校 校長
みやざき たかし
宮崎 隆一

「この先どうなるのだろうか」という不安に世界中が包まれていると思います。そうした中で下を向いてしまうことのないよう、どうか希望を忘れないでほしいのです。皆さんに「赤毛のアン」の一節を贈ります。物語の中で、大学進学を諦めた時にアンは「曲がり角を曲がった先に何があるのかは、分からないの。でも、きっと一番よいものにちがいないと思うの」と言いました。曲がり角の先が見えないと不安に感じるかもしれませんが、しかし、だからこそ美しい景色があるに違いないと信じる気持ちを持ってください。「神は天にあり、世はすべてよし」とアンがそっと自分自身にささやいたこの言葉と共に。



西南学院舞鶴幼稚園 園長
いまい なおき
今井 尚生 (2021年4月 就任予定)

社会や周りの大人たちが右往左往する中で、園児の皆さんは不安を感じているかもしれません。困難な状況にあると、私たちはどうしても今や将来に対してネガティブに考えてしまいがちです。しかし、皆さんの存在こそが、将来への希望だと、私たちは知っています。子どもたちは存在するだけで神様から愛されているということを実感し、「世の光なのだ」という自覚を持って、またそのことを忘れず、未来に向かって歩んでください。そして、その希望の光をあなた方の人生の中で輝かせてほしいと思います。その光は、皆さん自身の未来だけでなく、社会や大人を照らしてあげられる力になるでしょう。



西南学院早緑子供の園(保育所) 園長
G.W.パークレー

いつもとは違う毎日の中でも、お友達と元気いっぱい遊び、健やかに育つ皆さんの姿は、周りのみんなに元気を与えてくれています。困難な時代だからこそ、誰かが悩んでいたら共に悩み、喜んでいたら共に喜び、泣いていたら共に泣く。そんな風に自分のことだけでなく、お互いを支え合い、思いやりの気持ちを持って成長してほしいのです。そのようなお互いを思いやる気持ちは、コロナ禍においてはもちろん、将来皆さんが大人になった時にも必ず生きてくるはずです。神様に愛され、守られて成長している皆さんがご家族や先生、お友達に対して優しい心を持ち、支えてあげることによって、みんなが笑顔になりますように。



1 大変な思いをしている人たちに マスクやおもちゃをプレゼント

西南学院小学校 6年
そのだ なつや
園田 尚也さん

新型コロナウイルス感染症拡大状況下において世界中で困っている人たちがいることを知り、インドの恵まれない子どもたちのいる施設にタオルやせっけんを送りました。また、ホームレスの方々に支援している団体にはマスクを送りました。クリスマスには「キッズプロジェクト2020」の企画で、ブラジルやベトナムの子どもたちに簡単な英語のメッセージを添えておもちゃを届けました。

西南学院小学校に通う私たちにとっても、クラスみんなで学べる時間が減り、大変な日々でしたが、自分たちのことだけでなく、周りの人のことを考える大切さを感じました。これからももっと周りの人や神様が喜ぶようなことをしていきたいです。



児童から集まったおもちゃ



2 行き来できなくなっていた 海外の留学生とオンライン交流

西南学院中学校
教諭(国際交流委員) 佐藤 美緒

2020年度は、ほぼ全ての学校行事や部活動の大会が中止・延期となり、表情が曇って子どもたちに、何か刺激のある体験を提供できないだろうかという「オンライン国際交流」を企画しました。コロナ禍で西南学院大学に來れなくなった交換留学生と西南学院中学校の3年生とがオンラインで交流できないかと考えたのです。

オンライン国際交流は2回に分けて実施し、1回目は生徒から英語で質問を投げかけ、留学生たちが丁寧に答えてくれました。2回目は、各クラスを9チームに分け、福岡の魅力などを英語でプレゼンテーションしました。ZoomやiPadを駆使して、どう伝えたいかとみんなで試行錯誤しながらも、海外の人たちとつながる経験はとても意義深い時間になったようです。



3 思いやりのバトン

マスク着用での保育に変わり、 保育の現場で意識したこと

西南学院早緑子供園(保育所)
あひる けいこ
保育士 阿比留 恵



「わらべ歌遊び」の様子



さまざまな表情の絵カード

幼い子どもは私たち保育士の言葉だけでなく、表情やまなざしからもさまざまな情報を読み取ります。しかし、コロナ禍では、保育中でもマスク着用が当たり前になりました。子どもたちに安心して園での生活を送ってほしいから、以前よりも丁寧にコミュニケーションを図りました。気持ちや感情の変化が伝わるように、声の音量や高さ、話す速度など話し方を意識し、ジェスチャーも交えました。壁面遊具で言葉遊びをしたり、登場人物の感情が分かりやすい絵本を用意したり、目を見ながら心を通わせて歌う「わらべ歌遊び」などを積極的に導入。制限された環境の中でも子どもたちを見つめ、寄り添う気持ちを忘れることなく接しました。



4 「オンライン文化祭」で 生徒が輝ける場所を

西南学院高等学校 2年
生徒会執行部 おおこうち ふうか
文化局長 大河内 楓花さん

コロナ禍で文化祭が中止になり、文化部・同好会の生徒たちが普段の活動の成果を発表する機会がなくなってしまいました。形を変えてでも発表の場をつくり、全校生徒の皆さんに楽しんでほしいという思いから、ロイロノート・スクール®を使って動画配信形式の「オンライン文化祭」を開催しました。

これまでの文化祭とは全く違い、たくさんの制限がある中で初めての形で実施することは大変でした。しかし、各部活動の皆さんの協力もあり、全校生徒の皆さんも定期考査期間中にもかかわらずたくさん見てくれました。今回の経験をこれからの学校生活に生かしていきたいです。

※ネット上にクラスをつくり 運営・管理するツール



2020年オンライン文化祭の様子



キャンパスツアーの様子

5 新入生に学生生活のワクワクを感じてもらえるきっかけづくり

西南学院大学
国際文化学部 国際文化学科 3年
まむら
「LUSH」メンバー 木村 りこさん

コロナ禍で入学式やオリエンテーションが中止となった新入生をサポートするため、後期授業が一部対面で再開した2020年10月26日から11月10日の期間に新入生歓迎行事を開催しました。歓迎行事では、学生団体「LUSH(ラッシュ)」がキャンパスツアーと学生講演を担当しました。キャンパスツアーでは、学生スタッフが名札に興味などを書き、新入生が気軽に相談できるよう工夫し、大学内の各施設を案内しました。学生講演では、学生スタッフのこれまでの学生生活の経験をもとに、学習面でのアドバイスや課外活動の紹介など、新入生がこれから学生生活を送る上で役立つ情報をプレゼンテーションしました。さまざまな不安を抱えた新入生たちでしたが、学生生活に対するワクワクを感じてもらえる良いきっかけになったと思います。

※西南学院大学入試課所属学生広報ボランティア団体



コロナ禍において、人と人が触れ合う機会が激減しました。しかし、そのような時だからこそ誰かを思う優しい気持ちが人の心を温めてくれます。西南学院の各校・園・保育所で渡された思いやりのバトンは、途切れることなく、また次の誰かからつながって、広い世界へと届いていくはずですよ。

リモート朝の会で顔を見ながら お互いの思いを交換

西南学院小学校
のがみ さゆり
教諭 野上 小百合

休校期間中は週1~2回リモートで、朝の会を行いました。年度初めてだったので、担任教諭の自己紹介をクイズ形式で行ったり、自粛期間中に楽しかったことやおすすめの本を紹介したりして、お互いの理解を深めました。また、どんなクラスにしていきたいかという学級全体での目標を、グループセッションを通してみんなで考えました。

学習面では、教材の郵送や授業動画を作成し、配信しました。さまざまなツールを活用して双方向でのコミュニケーションを重ねました。オンラインでも顔を見ながら安心してもらえたらという気持ちが通じ、児童や保護者の方々からも良かったという声が届きました。



リモートで行った朝の会の様子

教材の発送準備の様子



画面を通じて、 声と笑顔と安心感を届けた休園期間

YouTubeで リズム運動や 読み聞かせの 動画を配信

西南学院舞鶴幼稚園
はたなか たえこ
教諭 昌中 妙子

休園当初は、自宅でできる遊びの紹介や遊べるキットにお手紙を添えて送っていました。また、日頃、幼稚園で親しんでいたリズム運動や手遊び、絵本の読み聞かせの動画を配信しました。保護者の方々から「お友達を誘い、Zoomと一緒にリズム運動をしました」「子どもがポストの前で、手紙が届くのを待っていました」といったうれしい声もいただきました。

長い間、休園が続いたこともあり、ご家族以外と接する機会が減っていたと思います。中でも手紙や動画を通じ、教諭の顔を見て、幼稚園を感じることができた意味は小さくありません。最も良い保育は、生身の人の関わりや実体験ですが、オンラインツールを使って、幼稚園とつながるきっかけになったと思います。



感染対策と学校生活の充実を願って 全校でポスターづくり

西南学院中学校 3年
うねこり てるみ
上籠 輝海さん

新型コロナウイルスが流行する中、充実した学校生活を送ることができればという思いから、ポスターを制作し、校内に貼ることで感染対策を呼びかけました。各クラスでポスターを3枚ずつ制作してもらい、さまざまな視点や考えを持ったみんなの個性が表れた素晴らしいポスターができました。普段と違う日常の中で大変な面もあったと思いますが、どのクラスもポスターの制作に協力してくれてとても感謝しています。ソーシャルディスタンスをとることやマスク着用で人との距離が離れたコロナ禍ではありましたが、みんなで一つの目標に向かって行動できたことをうれしく感じました。今後の学校生活においても、何事にも協力し合いながら、一緒にがんばっていききたいと思います。

卒業生からのメッセージ

西南学院舞鶴幼稚園では、のびのびとした環境で育ててもらい、たくましく遊ぶこと、自発的に動くことを学びました。西南学院高等学校では、自由な校風のもと、級友と共にキリストについて考える機会を与えられました。これまでにさまざまな苦しみや壁にぶつかったこともありました。そういった時は、自分の境遇を嘆くより、この状況が自分に何を教えてくれよ

うとしているかを知るようにしてきました。コロナ禍で混沌とした時代ではありますが、このような時代だからこそ、文学や音楽、美術、映画など生きるヒントを教えてくれるものにたくさん触れることが重要です。裏切られることを恐れ、疑うよりも、巡り合った言葉を信じてみることから始めてください。そうして始めたことが、皆さんにとってかけがえのないものになるでしょう。

俳優
いのうえ よしお
井上 芳雄さん
1986年 西南学院舞鶴幼稚園卒園
1998年 西南学院高等学校卒業

1979年生まれ、東京藝術大学音楽学部音楽科卒業。大学在学中の2000年に、ミュージカル「エリザベット」の皇太子ルドルフ役でデビューを果たす。以降、その高い歌唱力と存在感で数々のミュージカルや舞台を中心に活躍。



卒業生からのメッセージ

西新での生活は、現在につながる好奇心や探究心を養ってくれました。きっと、想定外の事態に戸惑っている方も多いと思います。自由に使える時間が増えた今、「夢中になれるもの」を見つけておくと、いつか思わぬ形で自分を助ける武器になるかもしれません。私の場合は、大学時代「名探偵コナン」にハマり、1話から最新話まで、4年間かけて何度も見返しました。日本テ

レビに就職した今は、「コナンオタクアナウンサー」として名探偵コナン関係の仕事も多く任されています。コナンを通して自然と身に付けた、より深く、詳しく知りたいという「オタク気質」も、生放送やインタビューの仕事に活かされている気がします。この状況下で心身ともに疲れてしまうこともあると思います。無理せず、たまに自分を甘やかしながら、乗り越えていきましょう。

アナウンサー
おざき りき
尾崎 里紗さん
2015年 西南学院大学
経済学部 国際経済学科卒業

2015年 日本テレビ放送網株式会社入社。現在入社6年目。入社後9月よりZIP!にてフィールドキャスター、ショービジネスキャスターなどを約3年務め、2018年10月からは朝の情報番組バゲットのMCを務める。



(C)NTV

[特集] 西南学院とコロナ禍

コロナ禍の一年間

2020年4月、全国に緊急事態宣言が発出され、1年が経ちます。西南学院においても、さまざまな挑戦や取り組みが行われました。大学・各学校・園・保育所の取り組みを振り返ります。



*1 感染状況の表示について「フェーズA~I」を「感染拡大警戒レベル1~V」へ変更



- (大学)**
 - ◎チャペルアワーを一部対面で再開
 - ◎オンライン大学祭を開催
 - ◎「西南学院大学緊急支援特別奨学金(後期)」申請受付を開始
 - ◎クリスマスツリー・ディスプレイ点灯式 YouTubeにて配信
- (中学校・高等学校)**
 - ◎中3 オンライン国際交流を実施
 - ◎中学生へiPad配布 11
 - ◎クリスマスツリー点灯式
- (小学校)**
 - ◎ネイバービクニック 宿泊なしで実施(1~4年)
 - ◎クリスマスツリー点灯式
- (舞鶴幼稚園)**
 - ◎年中児一日たっぷり遊ぼう会 宿泊なしで実施
 - ◎感謝祭礼拝 各クラスで礼拝
 - ◎クリスマス礼拝 学年ごとに実施

- (大学)**
 - ◎行動指針に基づき感染拡大警戒レベルII(流行消退期)へ移行
 - ◎経済支援の一環として、学生アルバイトを募集
 - ◎第15回ホームカミングデー オンライン開催 6
 - ◎学修支援金の給付を実施 (一人当たり一律30,000円の学修支援金を支給)
 - ◎WEB修学懇談会を実施
 - ◎前期卒業式 規模を縮小して開催
- (中学校・高等学校)**
 - ◎中学校・高等学校 WEBオープンキャンパス(9月、11月の2回開催)
 - ◎中学校体育祭中止
 - ◎高校スポーツフェスティバル中止
- (小学校)**
 - ◎学校説明会・入試説明会をオンライン形式にて開催
 - ◎土曜参観を延期
- (舞鶴幼稚園)**
 - ◎公開保育週間 予約制で実施
 - ◎年長児一日たっぷり遊ぼう会 宿泊なしで実施
- (早緑子供の園)**
 - ◎こどもまつり 規模を縮小して開催 7

- (大学)**
 - ◎前期定期試験の中止決定
 - ◎「西南学院大学感染症拡大防止のための行動指針」を設定 ※以下、「行動指針」という
 - ◎行動指針に基づき「経過観察期」(フェーズG)へ移行
 - ◎政府による、「学びの継続」のための「学生支援緊急給付金」の創設 本学でも受付開始
- (中学校・高等学校)**
 - ◎段階的開校開始
- (小学校)**
 - ◎郵送による教材の配布
 - ◎分散登校開始 1
 - ◎親子遠足中止
- (早緑子供の園)**
 - ◎社会見学中止(9月中止)
 - ◎親子遠足中止
 - [9月25日] 緊急事態宣言がすべての都道府県で解除される

- (大学)**
 - ◎卒業式中止
- (中学校・高等学校)**
 - ◎卒業式、修了式 内容を変更して実施
 - ◎一斉休校開始
- (小学校)**
 - ◎一斉休校開始
 - ◎卒業式開催、謝恩会中止
- (舞鶴幼稚園)**
 - ◎卒業式 規模を縮小して開催
- (早緑子供の園)**
 - ◎卒園式 規模を縮小して開催

[1月7日] 政府が東京など1都3県に2度目の緊急事態宣言を出し、13日に福岡など7府県を追加した

【特集】西南学院とコロナ禍

これからの日々

コロナ禍をきっかけに、学びの現場でも少なからず変化がありました。こうした経験を糧に、今後の教育・保育にどのように生かしていくのかなど、学びの現場での今後の展望や学びの可能性について、大学・各学校・園・保育所に聞きました。

自主的に学ぶ
姿勢を伸ばし、
より一層の
学びの充実へ



西南学院大学
教務部長
わたなべ けん
教授 渡邊 均
人間科学部児童教育学科

西南学院大学では、学生の「学修機会の保障」を最優先すべきと判断し、2020年度前期の全ての授業[※]を遠隔授業で対応しました。後期は、共通科目外国語部門及び外国語学部のこれに相当する科目やスポーツ実習科目等の一部を対面で実施し、それ以外の授業は引き続き遠隔で行いました。

学生にとっては、遠隔授業の利点は、汎用的なICTスキルが一定程度高まった程度にしか受け止められなかったかもしれません。しかし、大学の今後を展望すれば、在外で研究中の教員が現地から遠隔授業を実施した例や、本学の特色である「国際性」を新たな手段で拡張する可能性も感じられました。また、Moodle等の学修マネジメントシステムの活用は、今後の学修の充実にも必ず寄与するものと感じています。

今回、緊急対応としてやむなく全面遠隔授業に取り組まざるを得なかったことで、何より「大学で学ぶ意味」を改めて考えるきっかけとなりました。本来、大学とは設置基準にその狙いが含まれているように自律的かつ主体的に学ぶ場であり、学びの成果は学生の自主性次第で何倍にも拡張するよう仕立てられたところです。

これからは対面授業でも遠隔授業でも同じことですが、教員の用意した学修コンテンツに学生個人がどれだけアクセスして、どれだけ学びを展開・拡張していくことができるかが重要です。あえて難しいこと、困難なことに挑戦する姿勢を持ち、学びを充実させていくことを期待しています。

(※一部の科目については、対面による指導の機会を設けました)

ICTの活用を
進めつつ、
対面の大切さも
再認識



西南学院中学校・高等学校
ICT教育委員
たかだ りえ
教諭(理科) 高田 理恵

2020年春の休校期間中には、生徒が自宅でも学習を進められるように準備を進め、多くの授業動画を配信しました。配信した動画本数は1,350本、視聴回数は37万回に上ります。学校再開後も動画配信を授業に活用している教員もいます。2020年11月に、中学校の全生徒にiPadを配布し、Google Classroom^{※1}やGoogle Meet^{※2}を使ってオンライン授業を試行しました。

対面授業には、互いの顔や反応を直接見ることができ、理解度を把握できるという生徒・教職員双方にとっての安心感があります。教え合いや作品制作など周囲と協働する経験も対面でこそ得られるものでしょう。しかし、オンライン授業には、いつでもどこでも受けられるという大きな強みがあります。もし全ての授業で動画配信を行うことができれば、さまざまな事情で登校できない生徒に対しても学習面でのサポート体制を充実させることができるという今後の可能性も見えています。

コロナ禍をきっかけに、新しい試みを続けながらポストコロナ時代への備えを中学校・高等学校全体で進めようとしています。教職員には、ICT活用へのハードルを下げ、ICT機器を「文房具」の1つとして捉える視点が求められます。生徒も驚くほどのスピードで環境に順応し、ロイノート・スクール^{※3}やKeynote^{※4}などを使い、創意工夫を重ねながら学び続け、非常に頼もしく感じられます。

ICTを活用した授業も対面授業も教育に大切な要素を多く含んでいます。「生徒にとって何が最善なのか」を考え、変わるべき部分と変えてはいけない部分を見極めることが、今後、教職員や学校に求められると思います。

※1 ネット上にクラスをつくり運営・管理するツール ※2 ビデオ会議アプリケーション
※3 タブレット環境での学習に適した授業支援クラウド ※4 プレゼンテーションソフト

共に学ぶ
楽しさ、時間が
かけがえのない
ものだ実感



西南学院小学校
はなだ まなみ
教諭 花田 真奈美

2020年3月の一斉休校後は、教職員にとってもとにかく不安な日々でした。小学校では、児童と保護者の方々の不安を取り除くためにできることを毎日協議しました。学習に関しては、休校初期は、前学年の復習プリント配布や、授業の動画配信で対応しました。その後、Zoomを使い、オンラインで子どもたちと顔を合わせることができるようになり、教職員は児童の笑顔や声に多くの力をもらいました。

コロナ禍においては、児童の精神的な変化も見受けられました。家で過ごす時間が多くなったことで、生活面においても学習面においても、「いつも通り」に進められなくなってしまった児童は多かったと思います。児童にとって、学校で友人と過ごし、みんなで学ぶ時間はかけがえのないものであることを児童も感じたいでしょうし、私たち教職員も改めて実感しました。時には友人との関わりで悩んだりすることもあります。学校生活の中で多くの楽しさや社会性を学んでいるのではないのでしょうか。学習も同様に、みんなで学ぶから楽しいという声を多くの児童から聞きました。切磋琢磨というように、みんなが頑張るから自分も頑張れるという学校本来の環境の大切さを再認識しました。

今後は、コロナ禍を経て、急速にICTが普及している社会で生き抜くために、これまで以上に子どもたちは自ら学ぶ力とすることが求められると思います。「自ら学ぶ」という力は、目下の課題を解決するだけでなく、物事に対して自ら疑問を持ち、解決しようと思ったり、判断する力のことです。子どもたちを信じ、任せ、多くの経験を積ませることでそうした力が磨かれ、生きる力が高まるのではないのでしょうか。コロナ禍による試練や我慢から得られる学びや気づきをこれからの児童の人生に役立てられるよう支えていきたいです。

どんな時代でも
変わらない保育の
本質を守っていく



西南学院舞鶴幼稚園
たかはし けん
副園長 橋崎 賢
(2021年4月就任予定)

2020年5月までの休園期間は、それぞれのご家庭に毎日メールで連絡をしたり、ホームページに遊びの情報をアップしたりしていました。園舎や園庭には誰もおらず、例年なら子どもたちが食べるさくらんぼは鳥が食べ、冬に育てた春菊は花が咲いて種になってしまいました。

6月には園が再開し、手指の消毒やマスクの着用という習慣が加わりました。子どもたちはこれまでの日々を取り戻すかのように遊びに没頭し、良い意味で以前からの大きな変化はありませんでした。

園では、以前と変わらず、自然環境の中で遊び中心の1日を送り、自己肯定感が育まれるような場をつくり、食・睡眠・遊びといった基本的な生活リズムを大切にしています。パンデミックが起こっても教育の芯の部分は変わりません。何かを大きく変化させるといよりは、改めて本当の教育について考え直す良い機会になったのではないのでしょうか。子どもたちが楽しく、力強く生きていけるように寄り添い、見守り、背中を押すのが教育の目的だということを再認識することができました。

コロナ禍は、もう少し続くでしょう。そして、収束した後もまた別の困難が訪れるかもしれません。教育の内容や段階によっては、ICTを活用して乗り越えていける壁もありますが、保育においては、画面を通してのコミュニケーションだけで全体の発達までケアすることはできません。大事なことは大人が正しく情報を収集し、今の思いや考えを伝えていくことです。子どもたちには、将来くじけても立ち上がることができる粘り強さや、人となりが、自分たちで社会をつくっていくような「生きる力」を身に付けてほしいと思います。

家庭の大切さと
保育所の使命を実感した
コロナ禍の春



西南学院
早緑子供の園(保育所)
つらだ たまき
副園長 土田 珠紀

2020年度、保育所はさまざまな制限の中、通常保育を続けました。例年は新入園児さんの受け入れで慌ただしい4-5月ですが、緊急事態宣言下は長期欠席の園児も多く、家庭的な静かな春となりました。同時に、衛生環境の整備はもちろん、保育士のマスク着用による子どもたちの言語や情緒面の発達への影響を考え、まなざしや丁寧な言葉を添えることなど、コミュニケーションの方法にも気を配る日々が始まりました。

当時、子どもたちが自宅で過ごすことによって生じる家庭内のストレスの問題が取り沙汰されていましたが、長い休み明けに登園した園児たちは、情緒が落ち着き心身ともに充実した様子でした。保護者のみなさんからは、子どもたちが何かをできるようになっていく過程やきょうだい同士でじっくりと遊ぶ姿など、コロナ禍以前はなかなか見られなかった場面や様子を見守ることができたという、うれしい報告をいただきました。近年、保育所のニーズの高まりから幼い子どもの長時間保育の問題、それによる育ちへの影響が議論されています。そのような中、コロナ禍における保育を通して、乳幼児期の子どもたちにとっての家庭で過ごす時間の大切さと、子育てを支える保育所の役割や使命について改めて強く意識しました。

コロナ禍は防ぎようのない現実で、受け入れながら対応していかなくてはなりません。子どもたちにはその時々状況について、創造性をもって目に見えないことにも思いを馳せ、理解しようとする心の素地を培い、これからの先が見えないVUCA(激動・不確実・複雑・曖昧)な世界を、しなやかな心と身体で主体として生きていってほしいと願います。

SEINAN GAKUIN information

～西南学院からのお知らせ～

西南学院舞鶴幼稚園長の選任について

学校法人西南学院は、2021年1月29日の定期理事会において、今井尚生(西南学院長、西南学院大学国際文化学部教授)を西南学院舞鶴幼稚園長に選任しました。



舞鶴幼稚園 園長(新任) 今井 尚生
任 期:2021年4月1日～2023年3月31日

メールマガジン『西南学院Letter』にご登録ください!

メルマガ『西南学院Letter』は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月に2回の頻度でお届けいたします。



※携帯電話のメールアドレスをご登録の場合は、ドメイン名「seinan-gu.ac.jp」からのメールを受信可能な状態に、設定をお願いいたします。

【発行】
総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248
E-mail:koho@seinan-gu.ac.jp

大学同窓会から学生支援寄付金贈呈

2020年7月10日、西南学院大学同窓会の岩崎文正会長が本学を訪れ、G.W.パークレー学長に寄付金1,000万円の目録を贈呈しました。この寄付金は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により学生生活が困難となった学生を支援する目的で、西南学院大学サポーターズ募金へ寄付されました。岩崎同窓会会長は、「新型コロナウイルスの影響で、経済的に困難な状況にある学生や、将来に不安を覚える学生がいる。同窓会は今後も学生を支援していきたい」と述べ、学生を激励しました。西南学院大学同窓会の皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。



2021年度前期 公開講座「西南コミュニティカレッジ」のご案内

西南学院大学では、あらゆる世代の「学びの場」として公開講座を実施しています。2021年度前期はオンライン形式と対面形式を併設し、全12講座を開講します。お申し込み方法や各講座についての詳細は、大学ホームページにてご確認ください。



西南学院大学 生涯学習 検索

【お問い合わせ】
総合企画部
社会連携課
TEL:092-823-3952



《西南学院大学博物館》企画展「ユダヤ教の祝祭」

本展覧会では、ユダヤ教の信仰形態や芸術性を体現するユダヤ教のコレクションを通じて、ユダヤ人の信仰と生活に密接なつながりを持つユダヤ教の祝祭をご紹介します。



会 期:2021年4月17日(土)～7月31日(土)
会 場:西南学院大学博物館 特別展示室
入 館 料:無料
主 催:西南学院大学博物館
【お問い合わせ】
西南学院大学博物館 博物館事務局
TEL:092-823-4785 (10時～18時/日曜休館)

SEINAN TOPICS

大学・各学校・園・保育所の近況

西南学院早緑子児の園(保育所)

今井院長、パークレー園長と共に感謝祭礼拝

2020年11月、園児が家庭から持ち寄った果物を囲んで、神様からのたくさんの恵みに感謝する礼拝を守りました。礼拝後には、院長や園長、給食の先生や用務員の方など、日々子どもたちがお世話になっている職員に「お仕事頑張ってください」「おいしいご飯をありがとう」「きれいにお掃除してくれてありがとう」と、感謝の気持ちを込めて果物と手作りカードを届けました。



今井尚生院長と幼児クラス保育室にて

西南学院舞鶴幼稚園

コマの練習を重ね、だんだんできるようになる過程を楽しんで

2020年10月、年長児は「秋の会」のプレゼントとして投げコマをもらいました。子どもたちは投げコマでの遊びを通して、技を極める楽しさを知り、さまざまな技に挑戦しています。紙や手のひらに乗せたり、フライパンの中に投げ入れたり。自分が回せるようになったら回し方を仲間に教え、その頑張りを励まし、一緒に楽しんでいます。



回し方を教え合い、切磋琢磨

西南学院小学校

コロナ禍だからこそ全校で「リモートクイズ大会」

2020年12月中旬、1～3年生と4～6年生と2日間に分けて、計画委員会主催の「リモートクイズ大会」を行いました。司会は3階の職員室からプレゼンテーションソフトを使って動画で問題を出題。回答は各教室で話し合い、○か×かを決めました。みんなクイズに夢中になって答えたり、全員で話し合いながら、一つの答えを導き出したりして楽しみました。



全身を使って答えを表現!クイズに夢中1年生

西南学院中学校・高等学校

笑顔と喜びであふれた「スポーツ大会」

2020年10月23日、秋らしい涼やかな気候の中、中学1年生の「スポーツ大会」が行われました。「コロナ禍の中で我慢が続きましたが、体を動かして楽しい時間を持てたことをみんなで喜びましょう」という言葉に合わせ、全員で拍手をもって締めくくりました。先の見えない状況下でも喜びを見出そうと行動するきっかけになりました。



中学独自の準備体操。通称「西南体操」

生徒の心に光を与えてくれた「西南祭り」

新型コロナウイルス感染症の影響で延期せざるを得なかった高校文化祭の代替行事として、生徒会が中心となって行った「西南祭り」。緑日とスポーツを組み合わせたような趣向で「新しい生活様式」ならぬ「新しい行事様式」とも言うべき随所に工夫を凝らした企画でした。陽光とともに、久しぶりに生徒の晴れやかな笑顔を見ることができました。



青空の下で緑日を満喫

西南学院大学

米国大統領選挙について学べイベントを開催

2020年11月4日、在福岡米国領事館との共催で、米国大統領選挙について学べイベントを開催しました。このイベントは、本学学生に米国大統領選挙への理解を深めてもらうことを目的とし、在福岡米国領事館のジョン・テイラー首席領事による米国大統領選挙における選挙人団制度の説明や参加学生による模擬投票が行われました。



米国大統領選挙制度について説明するジョン・テイラー首席領事(写真中央)

西南学院大学サポーターズ募金ご協力のお知らせ

2018年4月から開始した西南学院大学サポーターズ募金では、寄付者のご意向に沿った目的に使用するために使途をお選びいただけます。皆さまのお持ちが本学のさまざまな活動の大きな支えになりますので、ご協力をお願いいたします。

<<< 選べる使途の種類 >>>

- 1 大学給付奨学金
- 2 教育・研究活動支援
- 3 スポーツ・文化活動支援
- 4 グローバル人材育成支援
- 5 ボランティア活動支援

寄付者銘板のご紹介

ご寄付をいただいた個人様、団体様、法人様のご芳名を刻銘した銘板を、西南学院百年館(松緑館)の1階に設置し、末永く顕彰いたします。

銘板掲載対象

- 【個人】5万円以上
- 【団体】10万円以上
- 【法人】50万円以上の寄付をいただいた方



西南学院大学サポーターズ募金に関するお問い合わせ

西南学院 総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248 FAX:092-823-3249
E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学サポーターズ募金ホームページはこちら▶▶▶



西南学院大学 経済学部経済学科 こんどう はるお 教授 近藤 春生

鉄道の旅でくすぐられる知的好奇心

鉄道が趣味で、国内外の鉄道に乗って旅をしたり、自宅で鉄道模型を走らせて楽しんでいます。旅に出ることで地理に強くなり、地域の歴史や経済にも関心が出ます。研究者になってからは、旅の途中で研究テーマを思いつくこともあります。一生を通じて探求できる趣味は、人生を豊かなものしてくれるはずです。



イギリスのロンドン・パディントン駅で撮影。車両の正面が黄色いのは、イギリスの鉄道車両の特徴



自宅で集めている鉄道車両模型もさまざまな色や形がある。何時間見ても飽きないそう